

# まちニュース



## 障がい者就労セミナー

### 取り組み事例の発表、意見交換も

NPO法人いわき市障がい者職親会は先ごろ、東日本国際大学で、「第二十六回いわき地区障がい者就労支援セミナー」を開いた。

会の冒頭、あいさつする石山理事長（中央）



同法人は障がいを持った人の就労を支援し、企業規模に応じ

た障がい者雇用率の定めがある市内企業などと連携を図っている団体。

セミナーに先駆け、十年以上の永年勤続者奨励賞、特別表彰を行い、いわき公共職業安定所、阿部智樹さんが「令和五年障がい者雇用状況について」と題した行政報告を実施した。

午後には、「福島県内の障害者雇用の取り組み／雇用から職場定着の取り組み」をテーマに、県内のスーパー三社の担当者らによるシンポジウムで、意見が交わされた。

同NPOの理事長を務め、スーパーマート常務取締役部長の立場で、障がい者雇用の現場に携わってきた石山伯夫さんは、「県内のスーパーマーケットでの障がい者雇用の取り組み



スーパーマートの7店舗で発売中の3種類

◎：自然水に近いバイオ水と、こだわりの原料や素材を用い、多種のかまぼこ製品、「シーフードケーキ」を製造・販売中のかねまん本舗（平下高久）は

三月七日から、市内のスーパーマート、ニ子店（平）など、計七店舗で三種類の「逸品」を販売中。

## カレーな三姉妹

### かねまんがマート7店舗で発売中

のショーケースの中には数十種の製品に加え、すぐそばには「大黒様と恵比寿様」の大きな彫刻像も、鎮座。店には、市内からの買い物客のほか、観光バスも訪れ、にぎわいを見せている。

◎：ガラス張りの建物、店内

◎：マートでの販売品は、酒類のつまみや、一品料理用の「くんかまチーズ」（一個四百三十円）、「同青のり」（同）。さらにカレー味の「カレーな三姉妹（あまくち、ふつう、からくちのセット）」（一個三百五十円）。かわいイラスト入り商品のデザインは中学生の発案で、買い物客にも評判。

◎：残る六店舗は、四倉（四倉）、草野（下神倉、高坂（内郷）、湯長谷（湯本）、君ヶ塚（小名浜）、中岡（中岡）各店。一連の商品、その他については同本舗（電話三九一三三六〇）まで。

## 東月が節句用の兜飾りなど販売中



5月の節句の準備に、同店を訪れた家族

事例の発表、意見交換を交えて、就労とネットワークの拡大をしていきたい」と、あいさつ。段階的に障がい者雇用率を引き上げていく国の施策や、実務上の課題など、さまざまな視点からの議論が交わされていた。

人形の東月（自由ヶ丘）は、五月の端午の節句に先駆け、同所で五月五日まで、いわき絵幟（のぼり）師、三代目辰昇作の本手描き絵幟などを展示、販売する「直販大奉仕会」を実施中。

同店の特設会場には、企画から製造した、よりすぐりの職人が手がけた逸品など、こだわりの「五月飾り」がズラリと並ぶ。中でも目を引くのは、会津本漆塗の兜（かぶと）飾り。色味には深みがあり、つややかな質感と精緻な作りで高級感があふれる作品ぞろい。

また、同店オリジナルの「御

家紋入り昇龍剣」や兜の裏側に魔よけの「不動明王蒔絵（まきえ）」が施された兜飾りなども豊富にラインナップ。脇山智彦社長は、「収納式でコンパクトな商品も多数用意しています。人形専門店として、アフターケアにも力を入れていきますのでご相談ください」と、話していた。

## 5年ぶりに神輿かつぎ

### 平、子歙倉神社

平字揚土、子歙倉神社の例大祭が四月十八、二十、二十一日、平の繁華街で行われる。

通称「県社」で知られる同神社の恒例行事は、コロナ禍のため昨年までは祭典、車による神輿（みこし）渡御のみだったが、昨年五月、5類感染症の移行とともに例大祭の斎行が検討されてきた。

今年五年ぶりの担ぎ手による神輿渡御は二十一日午前九時半から、平の氏子青年を中心に、東日本国際大などの学生、市内外の神輿を担ぐ会の男女が、威勢のいい掛け声とともに地域民の安心・安全などを願い、練り歩く。

先立つ十八日は午前十一時から祭典執行、二十日は午後二時から車による神輿渡御がある。現在、担ぎ手を男女問わず募集中。問い合わせは、同神社（電話二五一一〇九一）まで。